

## 「第 21 回水戸納豆早食い世界大会」実施要項

- (1) 期 日 令和 7 年 3 月 8 日 (土) 雨天決行・荒天中止
- (2) 会 場 千波湖畔 親水デッキ
- (3) 時 間 10 : 00 ~ 13 : 00
- (4) 審 査 予選・決勝ともにタイムレース  
男性の部：予選通過者 10 名 (予定)  
女性の部：予選通過者 10 名 (予定)
- (5) 食べるもの **予選**  
男性の部 納豆 360 グラム (納豆 90 g × 4 個)  
女性の部 納豆 270 グラム (納豆 90 g × 3 個)  
**決勝**  
男性の部 わらつと納豆 350 グラム (70 g × 5 本分)  
女性の部 わらつと納豆 210 グラム (70 g × 3 本分)
- (6) 褒 賞 男性の部 1 位 ~ 10 位, 女性の部 1 位 ~ 3 位
- (7) 応募資格 20 歳以上の方
- (8) 応募期間 **令和 7 年 2 月 4 日 (火) ~ 2 月 10 日 (月) (※先着順ではありません。)**
- (9) 応募方法 事務局が指定する応募フォームに必要事項を遺漏なく入力し応募ください。  
入力内容に虚偽の内容や誤りがあった場合は、失格となる場合があります。  
複数名で応募する場合には、お手数でもおひとり分ずつ入力・送信をお願いいたします。  
**応募者数が定員に達した場合は、抽選となります。**  
**※出場当選者には、2 月中に本人宛に通知をお送りいたします。参加料のお支払い方法についても記載いたしますので、忘れずにご確認ください。**  
**※参加料のお支払いが確認できない場合は、失格とさせていただきます。**
- (10) 募集人員 150 名 (予定)
- (11) 参 加 料 一人 2,000 円
- (12) 記 念 品 参加者に納豆・米などの記念品をプレゼント
- (13) 申込み先 (一社) 水戸観光コンベンション協会 水戸納豆早食い世界大会 係  
〒310-0011 茨城県水戸市三の丸 1-5-38 茨城県三の丸庁舎 1 階  
電話 029-224-0441 / F A X 029-224-0442
- (14) 備 考 本要項は変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

## 「水戸納豆早食い世界大会」審査方法

### 【予 選】

- 1 競技は1組約10名で行い、選手が食べる早さを競い、上位10名が決勝に進出する。
- 2 タイム計測は、審査員がストップウォッチを用いて行う。スタート合図は司会者が行うものし、合図と同時にストップウォッチを押す。選手は、司会者の合図により食べ始めるものとし、フライングした選手は失格とする。
- 3 予選の制限時間は、男性の部は2分、女性の部は3分とする。
- 4 予選での食べ物は、男性の部は「納豆360グラム（納豆90g×4パック）」、女性の部は「納豆270グラム（納豆90g×3パック）」とする。
- 5 用いる食べ物は、係員が事前に納豆にタレをかけた状態で提供する。なお、カラシは入れないものとする。
- 6 食べ終わった選手は、素早く挙手する。納豆パックが空になっていれば、口の中に入れていても（すべて飲み込んでいなくても）良いものとする。
- 7 審査員は、参加者が挙手した時点でストップウォッチを止め、時間を計測し、予選での記録とする。ただし、審査員が容器の中が空かどうか確認した際に、机や体、箸等に、納豆が一粒でも残っていた場合は、いくら食べる時間が早くても失格とする。

### 【決 勝】

- 1 男性の部は、予選通過上位10名で決勝戦を行い、1位～10位を決定する。女性の部は、予選通過上位10名で決勝戦を行い、1位～3位を決定する。
- 2 タイム計測は、審査員がストップウォッチを用いて行う。スタート合図は司会者が行うものし、合図と同時にストップウォッチを押す。選手は、司会者の合図により食べ始めるものとし、フライングした選手は失格とする。
- 3 決勝は、時間制限を設けないものとする。
- 4 決勝での食べ物は、男性の部は「わらつと納豆350グラム（70g×5本分）」、女性の部は「わらつと納豆210グラム（70g×3本分）」とする。
- 5 用いる食べ物は、決勝実施に先立ち、選手自身が、用意されているわらつと納豆5本（女性の部は3本）の中から納豆を一粒残さず器に移し、かき混ぜておくものとする。なお、選手の判断により、納豆にタレ及びからし各5個（女性の部は各3個）を入れることができる。
- 6 選手全員の準備が完了後、司会のスタート合図により納豆を食べ始める。
- 7 食べ終わった選手は、素早くどんぶりを頭上へ掲げる。どんぶりの中が空になっていれば、口の中に入れていても（すべて飲み込んでいなくても）良いものとする。
- 8 審査員は、参加者がどんぶりを上げた時点でストップウォッチを止め、時間を計測し、予選での記録とする。ただし、審査員がどんぶりの中が空かどうか確認した際に、机や体、箸等に、納豆やご飯が一粒でも残っていた場合は、いくら食べる時間が早くても失格とする。